



公益財団法人愛知県文化振興事業団

2019年9月15日(日)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

愛知
芸文
フェス

<Press Release>

報道各位



グランドオペラ共同制作

カルメン

【指揮】ジャン・レイサム=ケーニック 【演出】田尾下哲

平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。

さて、見出しのとおりプレスリリースを送付いたします。

ご多忙中恐縮ですが、ご一読の上、ご取材等いただければ幸いです。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(小出) 企画制作グループ(水野)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541

Mail: mkt@aaf.or.jp

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>

輝く才能が贈る21世紀の『カルメン』決定版を愛知で上演

「グランドオペラ共同制作 ビゼー作曲『カルメン』(全4幕/フランス語上演・日本語及び英語字幕付き/新制作)」を、2019年11月2日(土)・3日(日・祝)に愛知県芸術劇場大ホールで開催します。

本公演は、当劇場を含む7団体が主催する共同制作のオペラ公演です。10月19日(土)の神奈川を皮切りに、愛知・札幌の3都市をツアーします。

『カルメン』は、作曲家ビゼー(フランス)による晩年の傑作として、初演から140年以上が経った今も世界中で上演回数が多いオペラ公演です。

この傑作に、世界最高峰のスタッフたちが総力を挙げて挑みます。指揮は、ウィーン国立歌劇場やローマ歌劇場等、世界の檜舞台で活躍し、オペラ指揮者として国際的な名声を得ているジャン・レイサム＝ケーニック(イギリス出身)。ロシア芸術界最大の栄誉ゴールデンマスク賞を受賞した同氏のタクトを振る腕前にご注目ください。演出は03年から09年まで新国立劇場にオペラ・チーフ演出スタッフとして所属し、「あいちトリエンナーレ 2013『蝶々夫人』」の演出で賞賛を博した田尾下哲(たおした・てつ)。本公演では、舞台をアメリカのブロードウェイやショービジネス界におき、新感覚の『カルメン』を熱くスタイリッシュに描きます。

ソリストには、カルメン役に加藤のぞみやアグンダ・クラエワ(ロシア)をはじめ、現代日本のオペラ界を代表する豪華なキャストが勢ぞろいしました。

また、愛知公演には「愛知県芸術劇場合唱団」(合唱)や「名古屋少年少女合唱団」(児童合唱)、「名古屋フィルハーモニー交響楽団」(管弦楽)が出演。愛知に所縁のある多数のアーティストが出演する公演になっています。

なお、10月31日(木)に行なう最終リハーサルには、音楽を専攻する高校・大学生を招待。学生が本格的なオペラ公演に触れる機会の拡充も図ります。

この秋、極上のオペラ『カルメン』をぜひ劇場でお楽しみください。

魅惑の女性、カルメンの世界

『カルメン』は、プロスペル・メリメの小説『カルメン』をもとにビゼーによって作曲されました。1875年3月にオペラ・コミック座(パリ)で初演された後、現在も世界中で愛され続けています。

全4幕で構成される本作は、劇中で演奏される「第1幕への前奏曲」をはじめ、「ハバナラ」、「花の歌」、「闘牛士の歌」など次々に繰り出される有名なメロディーもさることながら、尽き果てぬ野心に燃える一人の女性とまじめな警察官、その二人を取り巻く恋愛模様が、観る人を魅了します。

音楽、物語、舞台装置、衣裳などを兼ね備えた総合芸術の華やかな世界をご堪能ください。

演出家の田尾下 哲よりメッセージ

ビゼーの作曲した音楽をどう捉えるか？音楽の調性、楽器の選択にどんな意味があるのか？など、音楽から発想し考えることが、オペラの専門性でもあると私は思っています。今まで私たちが疑わずに観てきた『カルメン』の音楽、言葉。そこを今一度楽譜を紐解きながら演出していきます。

『カルメン』を熟知している方は新たな切り口の『カルメン』を。全く知らない方は、圧倒的な音楽や物語を楽しめるので、ご覧になって面白いかどうか判断してほしいです。

演出家 田尾下 哲



(C)間宮 博(P&P)

愛知県芸術劇場合唱団が出演



▲ディクシオン訓練の様子



▲指導する大島義彰

愛知県芸術劇場(愛知県文化振興事業団)主催のオペラ公演に出演することを目的とした合唱団が、約3年ぶりに登場します。本公演で合唱指揮を務める大島義彰(おおしま・よしあき)の指導のもと、今年の1月から出演を想定したディクシオン(発音法)訓練を開始し、5月にオーディションで出演者を決定。現在は本公演に向けた合唱の稽古を行なっています。

参加者たちの多くは、合唱団やソロで普段から東海圏で音楽活動をしているアーティストです。訓練・稽古・本公演への出演を通して、地域のアーティストの更なるスキルアップを図ります。

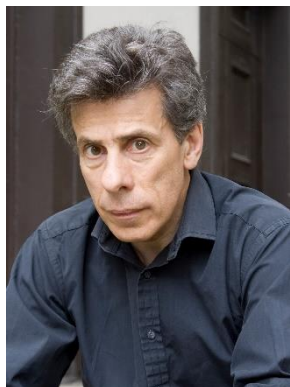
合唱団が参加する稽古スケジュール

日程: 9/22(日)、29(日)、10/5(土)、22(火・祝)、26(土)、27(日)、28(月)、29(火)、30(水)、31(木)、11/1(金)
会場: 愛知県芸術劇場 ※10/28、29 は名古屋市音楽プラザを予定

※日程や会場等は変更になる場合があります。取材を希望される場合はお問い合わせください。

プロフィール

ジャン・レイサム＝ケーニック(指揮) Jan Latham-Koenig



1953年英国生まれ。ロンドン王立音楽院で指揮を学び、88年にウィーン国立歌劇場にデビューした。同年ローマ歌劇場首席客演指揮者、97年国立ライン・オペラの総監督を歴任。現在はモスクワ・ノーヴァヤ歌劇場の音楽監督を務める他、ウィーン、ベルリン等各国の主要歌劇場に客演。2012年には東京の新国立劇場『オテロ』に出演し、絶賛を博した。この他フランドルス響の芸術監督を務め、ベルリン放響、ドレスデン・フィル、ロサンゼルス・フィル、東京都響、新日本フィル、アンサンブル金沢に定期的に客演している。

田尾下 哲(演出)



1972年兵庫生まれ、横浜育ち。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ドイツ人演出家ミヒャエル・ハンペに西洋演劇、演出を学ぶ。近年の演出代表作は、オペラでは日生劇場『後宮からの逃走』、神奈川県民ホール『金閣寺』、あいちトリエンナーレ『蝶々夫人』、ミュージカルではホリプロ『ボニー&クライド』、芝居では平幹二郎主演『王女メディア』、『プライベート・リハーサル』、2.5次元舞台では『ダンガンロンパ THE STAGE 2016』など。今後もオペラ、ミュージカル、芝居の他、能、歌舞伎の演出、海外での戯曲発表が控えている。

(c) 福里幸夫

カルメン Carmen

【メゾソプラノ】加藤のぞみ (11/2)

神奈川県出身。東京藝術大学卒業(安宅賞、松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞)、同大学院首席修了(アカンサス賞、武藤舞奨学金)。明治安田クオリティオブライフ文化財団助成金を受け渡欧。アッリーゴ・ポイト音楽院を経て、バレンシア歌劇場歌手育成プログラムにて研修。これまでに多くの劇場で『蝶々夫人』スズキを演じる他、ヴァッレ・デイトリア音楽祭『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、ビルバオでの『ノルマ』アダルジーザ、モデナ歌劇場『アンドレア・シェニエ』ベルシ等で出演。東京二期会には15年『リゴレット』マッダレーナでデビュー。今後は東京二期会での『清教徒』(演奏会形式)エンリケッタ、オヴィエド歌劇場『蝶々夫人』スズキが予定される。バレンシア在住。二期会会員

【メゾソプラノ】アグンダ・クラエワ Agunda Kulaeva (11/3)

モスクワ・ポリショイ劇場を代表する第1ソリスト。ブルガリアのボリス・クリストフ国際コンクール優勝を始め多くのコンクールで受賞。カルメン役としてベルリン・ドイツ・オペラ、モスクワ・ポリショイ劇場や、アリーナ・ディ・ヴェローナ(フランコ・ゼフィレリ演出)等に出演。その他、『アイダ』アムネリス、『ドン・カルロ』エボリ等、膨大な役をレパートリーとし、コンサートにおいてもヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、バッハ「口短調ミサ」等で、ソビエフ、クルレンツィス、ロストロポーヴィチ、ヴェデルニコフ、フェドセーエフ、プレトニョフ等の著名指揮者や世界中のオーケストラと共演し、各地のコンサートホール、著名音楽祭に出演している。

ドン・ホセ Don José

【テノール】福井 敬 (11/2)

岩手県出身。国立音楽大学卒業、同大学院、文化庁オペラ研修所修了。イタリア声楽コンコルソ・ミラノ大賞(第1位)、芸術選奨文部大臣賞新人賞、五島記念文化賞オペラ新人賞、出光音楽賞、エクソンモービル音楽賞本賞等受賞多数。第65回芸術選奨文部科学大臣賞。数々のオペラに出演、ドン・カルロ、オテロ、パルジファル、カラフ、ラダメス等英雄的かつノーブルな存在感と優れた演唱で、日本のトップテノールとして聴衆を魅了。近年東京二期会での『トリスタンとイゾルデ』『ローエングリン』各題名役も絶賛を博した。「第九」等でもN響始め主要楽団と共演、多くの国際的指揮者から信頼を得る。CD「六騎～こころを歌う。」「アマリツリ麗し」等多数。二期会会員

【テノール】城 宏憲 (11/3)

岐阜県出身。東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡伊。サイトウ・キネン・フェスティバル松本20周年記念コンサート「合唱幻想曲」でソリストデビューの後、東京二期会『イル・トロヴァトーレ』『トスカ』『ノルマ』『エロディアド』、グランドオペラ共同制作『アイダ』等プリモ・テノールで主演。昨年はヨーロッパ・ミュージック・オープン、ブルックナー「テ・デウム」で欧州デビューを果たした。第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに岩谷賞、第8回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞、岐阜県芸術文化奨励賞等を受賞。来年2月『椿姫』アルフレードで出演予定。二期会会員

公演情報

- 公演名** | グランドオペラ共同制作 ビゼー作曲『カルメン』
(全4幕/フランス語上演・日本語及び英語字幕付き/新制作)
- 日時** | 2019年11月2日(土)・3日(日・祝)各日 14:00 開演(13:15 開場)
- 会場** | 愛知県芸術劇場 大ホール
- 出演** | 指揮:ジャン・レイサム＝ケーニック
演出: 田尾下哲
カルメン: 加藤のぞみ(11/2)/アグンダ・クラエワ(11/3)
ドン・ホセ: 福井敬(11/2)/城宏憲(11/3)
エスカミーリョ: 今井俊輔(11/2)/与那城敬(11/3)
ミカエラ: 高橋絵理(11/2)/嘉目真木子(11/3) ほか
合唱: 二期会合唱団、愛知県芸術劇場合唱団、児童合唱: 名古屋少年少女合唱団
管弦楽: 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 入場料金** | 全席指定 S 15,000 円、A 12,000 円、B 9,000 円、C 6,000 円(U25 3,000 円)、
D 4,000 円(U25 2,000 円)、プレミアムシート 20,000 円 車椅子席 9,600 円
- ※ U25 は公演日に 25 歳以下対象(要証明書)
※ 未就学児入場不可。
※ 車椅子席は、劇場事務局(TEL 052-971-5609)にて取扱い。
※ やむを得ない事情により内容、出演者が変更になる場合があります。
- 発売日時** | 発売中
- 販売場所** | ○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/>
○愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
※平日 10:00-19:00 土日祝休 10:00-18:00 (月曜定休/祝休日の場合、翌平日)
○チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード 141-661)
○アイ・チケット ☎0570-00-5310
<購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。>
- 主催** | (公財)愛知県文化振興事業団(愛知県芸術劇場)
(公財)神奈川芸術文化財団(神奈川県民ホール)
(公財)札幌市芸術文化財団(札幌文化芸術劇場 hitaru)
(公財)東京二期会、(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団、
(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団、(公財)札幌交響楽団
- 助成** | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
- 特設サイト** | <https://www.kanagawa-kenminhall.com/aichi-sapporo-carmen/>